

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	35	介護保険	事業コード	38700	
事業名	高齢者等おむつサービス費						
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 介護保険課					
	課長名	澤田 明美	担当者名	吉本 実奈	電話番号	011-211-2547	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	紙おむつが必要な在宅の高齢者の費用負担を軽減するとともに、介護者の日常生活における介護の負担を軽減する。				
		長期	要介護者の紙おむつ利用による保健衛生の向上を図る。				
	取組内容	対象者は市内在住の在宅の40歳以上の要介護4または5の方で、認定調査票の「排尿」または「排便」のいずれかの項目が「全介助」となっている方。または、要介護3の方で、認定調査票の「排尿」または「排便」のいずれかの項目が「全介助」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度」の項目がⅢ以上の方。 月1回、6,500円以内でおむつを宅配。利用者は費用の1割を負担(生活保護受給者は無料)					
	実施結果	委託事業者が月1回利用者宅へ紙おむつを配送しており、令和3年度は70,002件の延利用件数があり、令和2年度の68,400件を上回る利用であった。					
事業実施における工夫点	複数の民間事業者に委託することで(令和3年度は6社)、利用者が委託事業者を選択できる。また、年間をとおして市内全域に安定的かつ継続的に配送できる体制をとっている。						
対象者	常時おむつを使用している在宅の高齢者等			開始	昭和54年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	介護保険法・札幌市在宅高齢者等・重度障がい者(児)紙おむつサービス事業実施要綱(市)						
他都市の状況	政令指定都市20都市の中で、札幌市を含めて18都市が類似事業を実施						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	0	382,294	373,285	397,201
うち特定財源	0	382,294	373,285	397,201
人工	0.0	2.5	2.5	2.5
人件費	0	18,000	18,000	18,144
計(事業費+人件費)	0	400,294	391,285	415,345
事業費の内訳	令和3年度決算	委託費:373,285千円 ※特別会計の事業のため、職員の人件費は事業費に含まれる。		
	令和4年度予算	委託費:397,201千円 ※特別会計の事業のため、職員の人件費は事業費に含まれる。		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	年間延給付(支払)件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	68400	72063	70002	74895
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	高齢者等おむつサービス事業は、常時紙おむつを必要とする在宅の高齢者等や中度以上の認知症の高齢者等に紙おむつを支給し、利用者の保健衛生の向上及び介護者の負担軽減を図ることを目的としている。高齢者等おむつサービス事業の主たる利用者として考えられる要介護4および5の高齢者数は増加しており、それに伴い年間給付件数も増加していることから(対前年度比102.3%増)、事業の実施目的を果たし、成果が得られている。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	在宅の高齢者等に対して紙おむつを支給する事業は18の政令指定都市で実施されている。都市によって紙おむつの支給を受ける対象者要件は様々であるが、予算額としては18の政令指定都市の中でも高水準であり、今後の事業費の見直しが課題となっている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	利用者の自宅に委託事業者が紙おむつの現物を配送するという事業の実施手法については、同事業を実施している18の政令指定都市の中でおよそ16都市が同様の実施手法を用いている。利用者本人及び介護者等の負担軽減を図るという事業の目的からも、適切な手法である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	常時紙おむつを必要とする在宅の高齢者等が介護の状態に応じた紙おむつの品目を選択し、6,500円以内の範囲内の紙おむつの給付を受け、1割負担で利用できる。また、委託事業者が利用者宅へ紙おむつを月1回配送していることから、利用者本人及び介護者の紙おむつ購入に係る経済的負担や身体的負担を軽減できており、利用者のニーズには十分応えられている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	要介護者の増加に伴って利用者も増加しており、予算が拡大している。今後も事業を継続していくためにも、一人あたりの支給額、利用者の対象要件などの見直しを検討する必要がある。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	事業費の削減に向けた検討を継続した。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	対象者に紙おむつを支給し、利用者の保健衛生の向上及び介護者の負担軽減を図る目的は達成できているものの、年々、給付件数が増加しているため予算が拡大していることから、一人あたりの支給額、利用者の対象要件などの見直しを継続する必要がある。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 一人あたりの支給額、利用者の対象要件などの見直しを検討する必要があるものの、利用者の負担軽減も考慮し、現年と同様に事業を継続していく。		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 年間給付件数の増加に伴い、令和4年度予算を拡充する必要がある。		見直し効果額 0 千円